

**鹿児島カップ2016
火山めぐり外洋ヨットレース
帆走指示書**

鹿児島カップ2016火山めぐり外洋ヨットレース
レース委員会

1. 適用規則

(1) 2013～2016 RRSに定義された規則を適用する。

夜間、及び視界制限状態の海上では、RRS第2章(航路権)の規則に代わって、海上衝突予防法が適用される。

(2) JSAF—OSR2014～2015 (カテゴリー3、4)並びに本レース特別装備規定

(3) A、Bクラスにおいては2014・IRC規則(但しIRC規則22.4.2削除・22.4.3適用)

(4) 本大会の公示、帆走指示書。但し、公示、帆走指示書の間で矛盾が生じた場合は帆走指示書を優先する。

また、ショートディスタントコースにおいて鹿児島カップ火山めぐり外洋ヨットレースの帆走指示書とTANEGASHIMA CUP帆走指示書に矛盾が生じた場合には鹿児島カップ火山めぐり外洋ヨットレース参加艇は火山めぐりヨットレースの帆走指示書を優先する。

2. 通告

参加者へ対する通告は、大会本部レース委員会室前に設置された公式掲示板より行われる。

鹿児島市陸上本部 (KMS内)・南大隅町陸上本部 (根占ドーム)

西之表市陸上本部 (ウェルカムパーティー内・事務局テント)

3. 帆走指示書の変更

(1) 帆走指示書の変更は、当該日の6:30までに公式掲示板に掲示する。

(2) 海上における帆走指示書(以下「指示」という)の変更は、L旗(音声信号1声)を掲揚した本部船から口頭で行う。

4. 日程

7月15日(金) 11:30～15:00 受付・インスペクション(KMS)

18:00～艇長会議

18:30～開会式・フレンドシップパーティー (城山観光ホテル:ホルト)

7月16日(土) 第1レース ディスタンスレース:Aクラス

鹿児島湾内インショアレース:B・Cクラス

7:55 Aクラス 予告信号

8:05 B、Cクラス 予告信号

タイムリミットは指示15.項の通り

7月17日(日) ショートディスタンスレース艇長会議

(種子島カップと同一コース)

17:30 事務局テント(ウェルカムパーティー会場内)

18:00 種子島フレンドシップパーティー

7月18日(月) ショートディスタンスレース:全クラス

7:55 予告信号

7月19日(火) 18:30 閉会式及び表彰式

開催地 ドルフィンポート 1F ドルフィンホール

*全てのレースはレース委員会の裁量に委ねられる。

5. 出艇申告

- (1) 出艇申告は、所定の様式でレース委員会に提出すること。
- (2) 各レース艇の出艇申告は、次の時間内に提出しなければならない。
- ① Aクラスディスタンスレース・B、C鹿児島湾内インショアレース
7月15日(金) 11:30から15:00 (KMS)
7月16日(土) 6:00から6:30 (KMS)
 - ② ショートディスタンスレース：全クラス
7月17日(日) 17:30 (艇長会議の席上にて受付)
7月18日(月) 6:30から7:00 (西之表市漁協前岸壁)

6. 本部船に掲げるクラス旗

本部船に掲げるクラス旗は、Aクラスは桃色旗、B、Cクラスは白色旗とする。
また、全クラス同時スタート時クラス旗はJSAFエンサイン旗とする。

7. レースコース

- (1) Aクラス・コースNo.1ディスタンスレースのコースは次のとおりとし、マークを左に見て回航し、フィニッシュは灯台と灯台の間フィニッシュする。
スタートエリアは平川沖(瀬々串港沖)。(図-1)
フィニッシュエリアは西之表港エリア(図-2)
Aクラス S-硫黄島-F(図-4)
- (2) B、Cクラス・コースNo.3鹿児島湾内インショアレース
スタートエリアは平川沖(瀬々串港沖)(図-1)
フィニッシュエリアは南大隅町大浜ゴールドビーチ沖
B、Cクラス S-F(図-3)
- (3) 全クラス・コースNo.2ショートディスタンスレース：全クラス
スタートエリアは西之表港沖
フィニッシュを神瀬浮標エリアとする。
全クラス S-黄色円筒型マーク-F
(TANEGASHIMA CUP 帆走指示書参照)
- (4) コースNo.4・ディスタンスコース
スタートエリアは平川沖(瀬々串港沖)(図-1)
フィニッシュエリアは浜平川港沖(平川ヨットハーバー)
S-神瀬浮標-F(図-6)
※コースNo.4はレース委員会の判断により、使用する場合がある。

8. マーク

マークは、黄色の1・2・3の数字の入ったマーク、及び数字の入らないピンク色の円柱のマーク、オレンジ色の三角錐のマーク、黄色の円筒形マーク並びに、硫黄島、神瀬浮標である。

9. レース参加艇の識別

- (1) レースに参加する艇は、配布された識別番号（ゼッケン番号）をバウから1.5mまでの間のライフラインに装着しなければならない。なお、艇の識別は「セールナンバーまたは識別番号」とする。
- (2) レースに参加する艇は、国際信号旗C旗をレース中はバックステイのデッキより1.5m以上に掲げなければならない。なお、コースNo.2ショートディスタンスレース中にTANEGASHIMA CUP レース実行委員会から支給される大会旗をバックステイのデッキより1.5m以上に掲げなければならない。
リタイヤした艇はC旗のみ降下する。

10. スタート

- (1) レースは規則26を用いてスタートさせる。
- (2) スタートエリア平川沖のスタートラインは、スターボードの端の本部船のオレンジ旗を掲げたポールと、ポートの端の黄色の円筒形マークのコース側との間とする。
- (3) スタートエリア西之表港沖のスタートラインは、本部船に赤色旗掲揚時にはスターボードの端の本部船のオレンジ旗を掲げたポールと、ポートの端のオレンジ色の三角錐マークのコース側との間とする。但し、本部船に赤色旗未掲揚時はポートの端の本部船に掲げたポールと、スターボードの端のオレンジ色の三角錐の間とする。
- (4) スタートラインは、全ての艇が正規のスタートをした場合、又はスタート信号後9分で閉鎖する。スタート信号後9分より後にスタートした艇は審問なしにDNSと記録される。これは規則A4、A5を変更している。
- (5) 各レースにおいてのOCIS艇に対して、スタート直後にVHF74チャンネルで該当艇を読み上げる。
これは、あくまでサービスであり、艇名の読み上げ順番等による不手際は救済の要求の対象とはならない。

11. リコール

- (1) インディヴィジュアル・リコール
インディヴィジュアル・リコールの場合には、本部艇にX旗を掲揚し、音響信号（1声）を発して通告する。
X旗の掲揚時間は、全リコール艇がRRS30.1に従い、スターティング・ラインの延長線からプレ・スタート・サイドに完全に入るまでの間またはスタート信号後4分間とする。
- (2) ゼネラル・リコール
ゼネラル・リコールの場合には、本部艇に第1代表旗を掲揚し、音響信号（2声）を発して通告する。
ゼネラル・リコールになったクラスの新しいスタートの予告信号は、RRS29.2に従い、第1代表旗降下1分後とし、これに続くクラスのスタートは順次繰り下げられる。
ゼネラル・リコール後のスタートは、RRS30.1（I旗規則）を適用する。

12. コース短縮と中止

- (1) コースの短縮は、携帯電話及びVHF無線74chで指示する。
- (2) レースの中止は、本部艇または公式運営艇にN旗あるいはN/H旗またはN/A旗を掲揚し、音響信号（3声）を発して通告する。
新しいスタートを行う場合の予告信号はN旗降下1分後とする
レース艇及びレース委員会は中止の確認の為、携帯電話及びVHF無線74chで確認ができる。

13. フィニッシュ

- (1) 鹿児島湾内インショアコースのフィニッシュラインは、スターボードの端の運営艇のオレンジ旗を掲げたポールとポートの端のピンクの円柱マークとの間とする。
- (2) コースNo.1 ディスタンスレースのフィニッシュラインは、西之表港付近とする。(図-2)
- (3) コースNo.1,4 ディスタンスレースフィニッシュ後、レース艇は速やかにレース本部携帯電話にフィニッシュ時刻を報告すること。
- (4) ショートディスタンスレースのフィニッシュラインは神瀬浮標(31°07'3N 130°37'1E)をレース艇のスターボードサイドからみて90°の位置をフィニッシュ時刻とする。
- (5) ショートディスタンスレースフィニッシュ後、レース艇は速やかにレース本部携帯電話にフィニッシュ時刻を報告すること。

14. 得点方法

- (1) 各艇の所要時間にTCCを乗じて修正時間を算出する。修正時間の小さい方を上位とし、順位に合わせて得点を付与する(修正時間が同値の場合TCCの低い艇を上位とする)
- (2) 得点に対する係数(N)は次の通りとする。
鹿児島湾内インショアレース X1 ディスタンスレース X2 ショートディスタンスレース X1.5
RRS付則A2「シリーズの得点」の定めにかかわる得点の除外を行わない。
- (3) レーティング
A、BクラスはIRCのレーティングを採用。
Cクラスのレーティングはレース委員会が定めたレーティングとする。
- (4) 総合順位は、各レースの得点を合計し、順位を決定する。
Aクラスにおいて得点が同点の場合は、ディスタンスレースの順位が上位の艇を上位とする。B・Cにおいて得点が同点の場合はショートディスタンスレースの順位が上位の艇を上位とする。各クラスにおいてこれでタイを解くことが出来ない場合、TCCの低い艇を上位とする。

15. タイムリミット及びレース終了時刻

- (1) ディスタンスレースのタイムリミットとは、17日(日)17時00分とする。
鹿児島湾内インショアレースのタイムリミットは、16日(日)17:00とする。それまでにフィニッシュしない艇は「DNF」と記録される。この項は、RRS35とA4, A5を変更している。
- (2) ショートディスタンスレースの全クラスのタイムリミットは18日(月)16:00とする。それまでにフィニッシュしない艇は「DNF」と記録される。この項は、RRS35とA4, A5を変更している。

16. レース艇の義務

- (1) 出艇申告書を提出し、スタートしない艇またはリタイアした艇は、その旨をレース本部へ携帯電話もしくはVHS無線74chにて直ちに連絡しなければならない。
- (2) 海上においてレースが中止になった場合には、帰港後、レース本部に直ちに帰着報告をしなければならない。ただし、夜間においてはレース本部へ携帯電話もしくはVHF無線74chにて報告を可能とする。
- (3) 上記(1)の連絡および(2)の報告は、当該艇の責任者が行き、第三者に伝言を託してはならない。

17. 失格に代わる罰則

- (1) RRS 31に関わる規則違反については、RRS 44.1 および RRS 44.2 (回転ペナルティー)を適用する。
- (2) OCS艇には所要時間の5%のタイムペナルティーを課す。
- (3) 軽微な違反に関しては、プロテスト委員会の判断でペナルティーを課さないこともある。
- (4) 13(3)、(5) フィニッシュ時刻の報告、26(3)「ロールコール」に違反した場合には、プロテスト委員会は1回のロールコールにつき10分のタイムペナルティーを課することができる。

18. 抗議(救済の要求)

- (1) 抗議(救済の要求)はRRS61(RRS62)に従い行われなければならない。
- (2) 抗議(救済の要求)は、所定の抗議書に必要事項を記入し、7月16日(土)のB・Cクラスの鹿児島湾内インショアレースは、レース終了後90分以内に(根占ドーム)に設けられたプロテスト委員会に提出しなければならない。
ディスタンスレースは最終艇フィニッシュ後90分以内に西之表市に設けられた陸上本部のプロテスト委員会に提出しなければならない。なお最終艇が日没後にフィニッシュした場合は、翌日の日出後、4時間以内にプロテスト委員会に提出しなければならない。
ショートディスタンスはその日の当該クラスの最終レース終了後90分以内に携帯電話及びVHF74chにてプロテスト委員会に連絡して、19日の9:00から10:00までに鹿児島市に設けられたプロテスト委員会に提出しなければならない。
- (3) レース委員会及びプロテスト委員会からの抗議は、公式掲示板に掲示する。(RRS61.1(a)の変更)
- (4) 抗議に関わる事項は抗議締切時刻後1時間以内に公式掲示板により通告する。
- (5) 抗議の当事者ならびに証人等は、指定された日時に審問室の前で待機していること。
- (6) シリーズ・レース最終日における審問再開の要求は、所定の抗議書に必要事項を記入し、次の時刻までにレース委員会に提出しなければならない。
 - (a) 要求する当事者が最終日の前日に判決を通告された場合には、最終日の抗議締切時刻とする。
 - (b) 要求する当事者が最終日に判決を通告された場合には、その判決の通告後30分の時刻とする。(RRS66の変更)

19. 乗員及びエントリー人数制限

- (1) 艇長を含む乗員のエントリー人数は、20名以内とし、各レースの乗員の数はその艇の定員以内とする。
- (2) 艇長は交代できない。但し、レース委員会の許可を得た場合はこの限りではない。
- (3) クルーの交代はエントリーされた乗員相互間で行うことができる。なお、出艇申告後のクルーの交代は、レース委員会へ乗員変更届を各レース定められた時間内に提出しなければならない。

20. 本大会の成立

- (1) 本大会はいずれか1つのレースが成立すれば成立する。

21. 夜間(公式日出及び日没)

- (1) 本大会の公式日出及び日没時刻は、次のとおりとする。

日出 5 : 2 4

日没 1 9 : 2 4

22. 安全装置（ライフジャケット・ジャックライン等）

- (1) 全てのレースにおいて離岸から着岸までライフジャケットを着用しなければならない（規則40の変更）。
全レースにおいて、海象に応じライフハーネスを着用し、テザーおよびジャックラインを装着しなければならない。ただし、抗議の対象にならないとする。

23. 緊急救助態勢に入る時間

- (1) 各レースにおいて、レース終了後2時間を経過しても、大会本部に連絡のない艇については、参加申込書に記載された連絡先に通知し、協議の上鹿児島海上保安部に捜索の要請を行うことがある。

24. 運営艇

- (1) 本部船・運営艇はJ S A F環境旗を掲揚する。

25. 上架の制限

- (1) すべての艇は、最初に予定されるレース当日の8時00分以前に海上に浮かんでいなければならない。大会期間中上架してはならない。但し、レース委員会の許可を得た場合はこの限りではない。

26. 無線通信

- (1) V H F無線74chはレース委員会がレース運営に使用する。緊急の場合及びレース委員会との連絡を除き、すべての艇はレース中レースに関する無線送信をしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用する。なお、いかなる通信形態・情報R R S - 4 1の外部の援助に該当しないこととする。
- (2) レースに参加する艇にはレース委員会より申告された携帯電話番号に安全確認の連絡をする場合がある。
- (3) ロールコールはディスタンスレースで行う。Aクラスは硫黄島港入港標（赤色）N 3 0 ° 4 6 ' 4 1 " E 1 3 0 ° 1 6 ' 4 4 " を方位340°に見る位置の時刻、さらにレース艇はフィニッシュのおおよそ1時間前にレース本部携帯電話に連絡しなければならない。なお電話通信ができない場合は、通信可能な位置に入り次第速やかにレース本部の携帯電話に連絡しなければならない。

28. 賞

(1) 総合成績

全クラス

優 勝 カップ・賞状・副賞

2・3位まで 賞状・副賞

(3) その他

特定順位に特別賞

29. レースオフィサー

NRO 宇都 光伸

30. レース委員会

レース委員長 伊地知 俊昭

副委員長 辻 順一 鶴村 佳洋

31. プロテスト委員会

プロテスト委員長 榛葉 克也

副委員長 岩城 龍之

委 員 野元 健一郎

委 員 市来 孝夫

32. 安全・計測委員会

安全・計測委員長 上山 教夫

副委員長 田原 達也

33. その他

レースにおける安全支援無線局（国際VHF局74ch）

かごしまヨット （74ch）

第十管区海上保安本部 118

鹿児島海上保安部 099-222-6680

レース本部携帯電話 2台